第４学年社会科学習指導案

４年２組 指導者　原田圭介

単元　　ごみの処理と利用

１　単元について

本学級の子どもたちは、ごみの処理と利用について、リサイクルや分別という言葉は知っているものの、集められたごみが最終的にどうなるかということや、ごみの処理と利用が自分たちの生活に深くかかわっているところまでは意識が行き届いていない。このような子どもたちが、ごみの処理と利用にかかわる対策や事業について調べ、自分たちの生活とのかかわりについて考えていく。このことは、よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとする態度や地域社会の一員としての自覚を養うことにつながるであろう。

本単元は、ごみの処理と利用にかかわる対策や事業について調べ、これらが地域環境の維持と向上のために組織的に進められていることと、自分たちの生活とのかかわりとを関連付けて考える学習である。子どもたちは、ごみを減らすために自分たちにできる取り組みは何かという問いをもって追究していく。そのために、家庭から出されたごみの処理と利用について、資料をもとに調べたり、清掃工場の方に話を聞いたりする活動を行う。その中で、それらにかかわる対策や事業が、地域環境の維持と向上に役立っていることを理解する。また、ごみの処理と利用が自分たちの生活に深くかかわっていることを考えることで、ごみを減らすために考えた取り組みを自分たちの生活に生かすことができると考える。

そこで、以下のような支援を行っていく。

○　ごみ調べカードを学級全体でまとめた資料を提示する。そうすることで、自分の家庭との共通点や相違点に気付くことができるようにする。

○　清掃工場の方々に、「車」「仕事」「分別」の３視点で話してもらうようにする。そうすることで、ごみの処理と利用に携わる方々の思いや願いを切実感をもって聞けるようにする。

○　見学で気付いたことや市の資料から見付けたごみ処理の問題について話し合う場を設定する。そうすることで、ごみ処理の問題解決に向けて、自分たちにできる取り組みにも多様な考え方があることに気付くことができるようにする。

２　目　標

○　ごみの処理と利用にかかわる対策や事業について調べることをとおして、それらが地域環境の維持と向上に役立っていることを理解し、自分たちの生活とのかかわりについての考えを表現することができるようにする。

○　ごみの処理と利用についての問題を話し合う中で、地域社会の一員として自分たちにできる取り組みを考え、自分の生活に生かそうとする態度を育むことができるようにする。

３　評価規準

関心・意欲・態度(関)	思考・判断・表現(思)	知識・技能(知・技)
○ごみの処理と利用について関心をもち、意欲的に調べている。 ○地域社会の一員として、自分たちにできる取り組みを考え、自分の生活に生かそうとしている。	○ごみの処理と利用にかかわる対策や事業が果たす役割を考え、自分たちの生活とのかかわりについての考えを表現している。	○ごみの処理と利用にかかわる対策や事業が、地域環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 ○ごみの処理と利用に関する資料で調べた情報を整理している。

４　指導計画（全１７時間）

１次　ごみの処理と利用について、学習課題をつかむ。（３時間）

２次　ごみの処理と利用について調べ、自分たちの生活とのかかわりを考える。（１２時間）

３次　ごみ処理の問題解決に向けて、自分たちにできる取り組みを考える。

（２時間）【本時１／２】

５　本時案　　【平成２９年５月９日　１１：３５～１２:２０　４年２組教室】

（１）ねらい　　ごみ処理の問題について話し合うことで、ごみを減らす必要性に気付き、自分たちにできる取り組みについての考えをもつことができるようにする。

（２）学習過程

学習活動／子どもの意識	支　援
①　過去５年間のごみの量の推移を予想する。　(10分) **学習内容　・ごみの量を表すグラフの読み取り（知・技）** ・　ごみの量がどのように変わってきているか予想するのだね。 ・　みんながリサイクルしているから、減ってきているはずだよ。 ・　あれだけ頑張ってもごみの量は変わってないね。 ごみの量が変わってなかったら、問題はないのかな。 ・　リサイクルや環境のことを考える人は増えていると思うよ。 ・　でも、リサイクルしているのに、ごみが減らないのはなぜかな。	○近年のごみを量の推移を予想させた後に、そのグラフを提示することで、ごみの量の変化が少ない理由を考えることができるようにする。
②　ごみ処理の問題について話し合う。　(25分) **学習内容　・社会的問題への考え（思）** A　僕は、エコバックを使ったり、トレーを返したりしているよ。 ・　ごみの中でも、リサイクルの量はきっと増えているはずだよ。 ・　あれ、リサイクルの量はあまり変わらないね。なぜかな。 ・　きちんと分別していない人がいるからではないかな。 ・　もっとみんながリサイクルに協力したらいいのだよ。 どんどんリサイクルすれば、問題はないのかな。 ・　リサイクルできないものもあるよ。 ・　燃やせるごみや燃やせないごみも減らさなければいけないよ。 B　リサイクルにもこんなにお金がかかるのだね。知らなかったよ。 A　今までごみをリサイクルをしていることで安心していたけど、リサイクルだけではだめだね。 ・　ごみそのものを減らしていくことが、きっと大切だと思うよ。	○ごみの内訳が分かる資料を提示することで、リサイクルの量が増えない問題について考えることができるようにする。 ○リサイクルごみ以外での問題解決に発言が集中した際は、ごみ処理にかかる費用を示す。そうすることで、リサイクルの問題点や今後のごみ処理の在り方について考えることができるようにする。
③　本時の学習を振り返る。　(10分) **学習内容　・ごみを減らすために自分たちにできる取り組み（思）** ・　Ａさんの話を聞いて、いらないものは買わないようにしようと思ったよ。 A　使わなくなったものはすぐ捨てるのではなく、必要な人に譲ってあげよう。 B　最後まで使い切ろう。お金を払って、まだ使えるものを捨てていたなんて、もったいなかったな。	○リユースやリデュースの視点で書いてある振り返りを見取り、紹介することで、自分たちにできる取り組みにも多様な考え方があることに気付けるようにする。

６　板書計画